

や安産祈願にもご利益があるといわれて
いましたが、現在は子どもの授かり祈願
けにご利益があるといわれて信仰されて
いましたが、現在は子どもの授かり祈願
人気が高かったようです。かつては、火除
けの現世利益を祈願して多くが祀られま
した。観音菩薩の中では聖観音菩薩と並んで
いて数が多く、救済の面からも觀音菩薩の
変化身の中では千手觀音菩薩と並んで
います。奈良時代から信仰を集め、病気治癒な
ど、現在は子どもの授かり祈願

*引用文献『こうげの文化財』

教務課文化財保護係 矢野 和昭



▲観音堂

▲日熊観音

おすすめ本

歌う自画像

- パンどろぼうせかいいちかわいいでづくりこもの
- あなたが誰かを殺した
- ヒロイン
- ようかいむらのめでたしあいこさん

※新型コロナウイルス対策として、書籍の消毒を行っていますので安心してご利用ください。

※すべて入荷済

リカバリー・カバヒコ

公園の古びたカバの遊具、カバヒコに触ると、治したいところが回復するという。新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒルに住もう人々は、それぞれの悩みをカバヒコに打ち明けます。十一面觀音菩薩は觀音菩薩の変化身の一つであり、六觀音の一つでもあります。奈良時代から信仰を集め、病気治癒などの現世利益を祈願して多くが祀られました。観音菩薩の中では聖觀音菩薩に次いで数が多く、救済の面からも觀音菩薩の変化身の中では千手觀音菩薩と並んで人気が高かったようです。かつては、火除けにご利益があるといわれて信仰されていましたが、現在は子どもの授かり祈願



14歳からの映画ガイド

映画監督・脚本家・科学者といった様々な分野で活躍する25人が、「14歳に見てほしい映画」を案内。「悩んだときに観る映画」など3つのテーマに分け、1人1本の紹介に、お薦めの3本も合わせて、約100作品を掲載する。

青山美智子【著】光文社(入荷済)

環境標語入選作品

助けてよ ぼくには聞こえる
地球の声

南吉富小4年 佐藤 龍斗

節電は 一人一人の 心がけ

西吉富小5年 中山 由桜

※学校・学年の表記は3月時点のものです。



環境ポスター入選作品

さとうりゅうと
の いきなり団子

こうげのみどき
ひぐまかんのん
上毛風土記
Vol.211

今回は町指定美術工芸品の中から木造彫刻の日熊観音を紹介します。日熊観音は大字大ノ瀬にある日熊山のお堂に祀られています。道の駅しんよしとみの駐車場から北の方角をながめると、赤いのぼり旗と大きな看板が立っているので、すぐ分かること思います。

こうげの文化財より引用します。「鎌倉時代の仁治元(一一四〇)年に日熊小次郎直久が日熊城主になった際、日熊一族を守る觀音菩薩を祀るお堂として建立され」と伝えられています。觀音菩薩の正式な名称は觀世音菩薩や觀自在菩薩と呼ばれ、わが国で最も広く信仰されている尊格の一つです。觀世音とは世間の人々の救いを求める音声を観じて、ただちに救いの手を差し伸べるという意味があります。十一面觀音菩薩は觀音菩薩の変化身の一つであり、六觀音の一つでもあります。

奈良時代から信仰を集め、病気治癒などの現世利益を祈願して多くが祀られました。觀音菩薩の中では聖觀音菩薩に次いで数が多く、救済の面からも觀音菩薩の変化身の中では千手觀音菩薩と並んで人気が高かったようです。かつては、火除けにご利益があるといわれて信仰されていましたが、現在は子どもの授かり祈願



～12月4日から10日は人権週間です～

上毛町人権講演会

12/3日

開場 12:30 ※受付 12:30~13:30
開演 13:30入場
無料

場所 げんきの杜 多目的ホール

●開会行事	13:30 ~
●人権ポスター・デザイン標語表彰式	13:40 ~
●講演	14:00 ~ 15:30

講師 笠井 信輔 氏
足し算で生きる力
～困難を乗り越えるためのヒント～



人権イメージキャラクター 人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

同時開催/げんきの杜ロビー

・小中学生の「人権ポスター・デザイン標語入選作品展示」

●問い合わせ先 住民課 住民福祉係 TEL 72-3116

食育ボランティアグループ
いきなり団子

<材料>(4人分)

●さつまいも	100g	●薄力粉	40g
●つぶあん	60g	●白玉粉	32g
A		●塩	少々
		●砂糖	少々
		●ぬるま湯	40cc

<作り方>

- ①さつまいもは皮をむかずに大きなまま30分蒸す。
- ②Aを混ぜあわせ、耳たぶぐらいのかたさに練る。
- ③②の生地を棒状にのばし、4等分に切る。
- ④蒸したさつまいもを4等分に切り、上につぶあんを均等にのせ、薄くのばした③の生地で包む。
- ⑤蒸気の上がった蒸し器で5~6分蒸して出来上がり。



いきなり団子は、熊本の郷土おやつです。阿蘇山麓周辺地域では、さつまいもを収穫する秋の農作業の間に食べるおやつとしてよくつくられていました。「いきなり」とは、熊本弁で「簡単・手早く・すぐに」という意味で、短時間で簡単につくることができるほか、急な来客の際でもすぐに出せるというのが名前の由来といわれています。